

SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

◎平成24年12月～平成25年2月の運転・利用実績

SPring-8は11月26日から12月27日までセベラルバンチ運転で第6サイクルの運転を行い、1月15日から2月8日までセベラルバンチ運転で第7サイクルの運転を実施した。第6～7サイクルではSR RF Dst. 直流高圧盤冷却系異常によるアボート等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、第6サイクルは約1.1%、第7サイクルは1.3%であった。

放射光利用実績（いずれも暫定値）については、実施された共同利用研究の実験数は、第6サイクルは合計320件、利用研究者は1,530名で、専用施設利用研究の実験数は合計180件、利用研究者は884名であった。第7サイクルは合計242件、利用研究者は1,044名で、専用施設利用研究の実験数は合計142件、利用研究者は676名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第6サイクル（11/26（月）～12/27（木））

第7サイクル（1/15（火）～2/8（金））

(2) 運転時間の内訳

第6サイクル

運転時間総計 約743時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約119時間

②放射光利用運転時間 約617時間

③故障等による down time 約7時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム＝②＋③）

に対する down time の割合 約1.1%

第7サイクル

運転時間総計 約574時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約119時間

②放射光利用運転時間 約449時間

③故障等による down time 約6時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム＝②＋③）

に対する down time の割合 約1.3%

(3) 運転スペック等

第6サイクル（セベラルバンチ運転）

・1/14 filling + 12 bunches

・11/29 filling + 1 bunch

・11 bunch train × 29

第7サイクル（セベラルバンチ運転）

・11/29 filling + 1 bunch

・203 bunches

・入射は電流値優先モード（2～3分毎（マルチバンチ時）もしくは20～40秒毎（セベラルバンチ時））の Top-Up モードで実施。

・蓄積電流 8 GeV、～100mA

(4) 主な down time の原因

・直流高圧盤冷却系異常によるアボート

・四極電磁石電源半導体過電流によるアボート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第6サイクル（11/27（火）～12/25（火））

第7サイクル（1/17（木）～2/7（木））

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26本

専用ビームライン 18本

理研ビームライン 9本

加速器診断ビームライン 2本

第6サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数 320件

共同利用研究者数 1,530名

専用施設利用研究実験数	180件
専用施設利用研究者数	884名
第7サイクル（暫定値）	
共同利用研究実験数	242件
共同利用研究者数	1,044名
専用施設利用研究実験数	142件
専用施設利用研究者数	676名

◎平成25年2月～3月の運転・利用実績

SPring-8は2月9日から3月31日まで年度末点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

◎平成25年4月の運転・利用実績

SPring-8は4月1日から4月26日までセベラルバンチ運転で第1サイクルの運転を実施している。

第1サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

◎今後の予定

4月27日から5月6日まで春の点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。